



公立保育所の整備は 市民と協議を

伊藤初美 議員

問 亀久保・鶴ヶ岡保育所の整備計画は、協議会を設けて市民と行政で議論すべきでは。

答 保護者代表との話し合いを続けてきた。相談等については、随時、個別に対応していきたい。

問 旧西保育所の今後は、備品等の一時保管場所として当面利用する。

答 国保医療支援の拡充
生計維持者の死亡などで所得が激減した場合の入院にかかる医療費の一部負担金減額、免除の対象を通院にも拡大できないか。
財源確保や公平性の

今後は処分等を含めて、活用方法を検討する。

国保医療支援の拡充

問 小中学校は災害時の避難場所でもある。体育館のトイレ改修の計画は。

答 東台小学校は多機能トイレを設置している。洋式化や多機能トイレの設置は課題であるところとされており、国の補助金の交付状況や施設整備の優先順位など踏まえ検討したい。

学校体育館の トイレ改修を

観点から入院のみとし、拡大は考えていない。

市民の自主的な活動を 積極的に支援

鈴木啓太郎 議員

問 地域では健康づくり、栄養講座などがとても人気がある。市民の自主的な取り組みを支援することが大切では。

答 保健センターで実施する講座受講者の中から講師やスタッフとなる人材の育成に努め、食生活改善推進員協議会などの

公民館の利用手続を 簡単に

問 公民館の利用にあたって減免申請書を毎月提出することに変わった。利用者の負担が大き

いが、改善できないか。
答 平成27年度から毎月申請としたところ、利用団体の負担が大きく改善の要望が多く寄せられたため、6月1日より、施設の利用申請とあわせて減免申請書を自動発行できるように変更した。

サポートについては、従来の方法も含めて、予約申請などしやすい方法に改善していく。また、予約申請等で何回も公民館に行かなければならない点も改善することを検討する。



合併浄化槽への補助

問 合併浄化槽の設置費と維持管理費の補助制度を創設できないか。

問 地域公共交通会議の目的は。

答 委託業者の管理人シフトの関係から、集会施設の申し込みは利用日の3日前までとしている。

答 公共下水道使用者との公平性の観点から補助は考えていない。

平和都市宣言市として事業の拡充を

問 核兵器廃絶署名の取り組みを強化すべきでは。

答 引き続き公共施設での署名を呼びかけていく。

集会施設と公民館の運営改善

問 集会施設で空室がある。

答 利用者の声を聞いて、

市内循環バスの 運行改善

足立志津子 議員

問 地域公共交通会議の目的は。

るのに借りられない現状を改善すべきでは。

答 利便性の高い公共交通実現のため、市民、交通事業者と市が担うべき役割や取り組むべき事業を決める。

集会施設と公民館の運営改善

問 集会施設で空室がある。

答 利用者の声を聞いて、

安全保障法制等への 見解は

塚越洋一 議員

問 安全保障法制と市民の生命財産を守ることを第一の仕事とする市の見解は。

答 日本を取り巻く安全保障環境は厳しい状況となっており、国会の十分な審議と国民への丁寧な説明が必要と考えている。

空き家対策への 新たな展開を

問 空き家対策特別措置法が施行された。本市も条例を見直して新たな展開を。

答 空き家の除却等による生活環境保全を進め、空き家バンク・防災空地・

市民交流施設等の利活用を研究したい。また、条例改正はより先行して行いたい。予防については、福祉部門と連携し、空き家になりそうな世帯の親族に必要な助言を行えると考えている。

雨水計画の変更

問 公共下水道（雨水）計画の変更は。

答 雨水貯留浸透施設3基をつくり、砂川堀1号と2号幹線の負荷を軽減

減、3号幹線は管渠ルートを現道に変更する。

桜ヶ丘のゾーン30

問 桜ヶ丘地域の「ゾーン30」の実施予定は。

答 8月頃に説明会を行った後、秋以降に実施する予定。

園庭確保への支援

問 亀久保ひまわり保育園に園庭確保の支援を。

答 早期の園庭確保への支援に努めていきたい。

想いが宿る ベンチの設置を

小林憲人 議員

問 自らが出資をすることでベンチの設置ができる、マイベンチ制度を導入しては。

答 この制度により、ベンチの拡充を図ることができるほか、愛着を持てるなど様々なメリットがある。先進事例を参考に実施方法を検討してい

イエローカードで 散歩マナー向上を

問 放置されたペットの排泄物の横に、ポラントイアがイエローカードを置き、排泄物の減少につなげている事例が全国に多数ある。検討を。

答 先進市の事例を参考に効果面などを整理して

在宅福祉の さらなる充実を

問 超高齢社会を控え、福祉サービスの多様化が求められている。社会福祉協議会と連携し、住民参加型在宅福祉サービスの推進を。

答 推進すべき事業として社会福祉協議会を支援

公共施設の 適正管理を

問 公共施設に対する、複合化の考えは。

答 公共施設の複合化は有効な手法。高齢者施設に障がい者のグループホームを併設するなど、様々な手法が考えられる。市民や各種団体とともに、時間をかけながらもスピード感を持って考えていきたい。

がん検診受診率の 向上を

問 胃がん検診、乳がん検診などの低受診率を改善する対策は。

答 新河岸川への影響を検証する中で検討の可能性も出てくる。

サービスの向上を図る。
問 消費者教育推進のため、職員体制の充実を。
答 消費生活センター設置条例の制定作業など新たな業務が出てくれば、検討もあり得る。

問 乳がん検診、子宮頸がん検診で、過年度の無料クーポン券配付時の未受診者に再度、無料クーポン券を送付するなど、受診率向上を図る。
問 排水ポンプ設置の方向で準備が始まったが、遊水池設置の考えは。
答 新河岸川への影響を検証する中で検討の可能性も出てくる。

福岡江川の浸水対策

問 排水ポンプ設置の方向で準備が始まったが、遊水池設置の考えは。

答 新河岸川への影響を検証する中で検討の可能性も出てくる。

